

## 空き家調査結果を活用した移住定住の促進（西予市）

### 【取組概要】

西予市は、人口問題対策として、全国的にも課題である「空き家」に対する取り組みを平成26年度からスタートした。市内にある空き家を住民組織と連携して拾い出し、それぞれの空き家を点数化して5段階による危険度ランク付けを行った（業者委託）。さらにその情報を市のGIS地理情報システムにプロットして、市の関係部局が情報の共有化を図るまでに整備できている。今後は危険な空き家は適正な指導のもと除却を進め、また利活用可能な、空き家は移住定住施策として、都市部からの人を呼び込む地域資源として活用したい。

人口 40,796 人

担当部署 企画財務部まちづくり推進課  
事業実施期間 26年6月~27年3月  
取組事例のURL なし

### 【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

空き家問題は、所有者本人のみならず、行政課題でもあり、地域課題でもある。当調査において、地域住民団体と連携したなかで、空き家調査を実施した意義は大きい。

移住施策を推進するには一自治体のみで取り組みよりは、県下全域、若しくは南予地域という単位でのスケールメリットを活かす方が有効ではないかを感じる。都市部の住民がピンポイントでの移住先を検索することはまれで、愛媛・南予といったイメージ戦略での推進が必要ではないかと考える。



空き家調査説明会



空き家確認作業（目視）